

＜ 芸 術 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	音 楽 II	学 年 ・ 類 型	2 年 生 I 型	単 位 数	2 単 位	教 科 書	MOUSA 2 (教育芸術社)			
学習の到達目標		歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、発展的な技能を身に付けるとともに、表現する楽しさを味わう。楽譜についての知識を身に付け、読譜能力、記譜能力の向上を図る。鑑賞の活動を通して、楽曲のよさや美しさを文章にして表現したり、批評する能力を身に付ける。								
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 音楽表現の創意工夫	C 音楽表現の技能	D 鑑賞の能力						
評価の内容	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。						
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ワークシート	・学習活動での表現内容 ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート	・学習活動での表現内容 ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート	・小テスト ・ワークシート ・レポート						
学 期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点			
							A	B	C	D
1 学 期	4	正しい発声法を身に付けよう ○校歌 ○東京VICTORY ○ハナミズキ	親しみやす歌唱曲の学習を通して、歌うことの楽しさを味わいながら1年間の音楽学習への意欲を養う。また昨年度学習した基本的な歌唱法の復習を行う。				○	○	○	
	5	弾き語りチャレンジ ○糸	コードネームについての理解を深め、ギターによる伴奏の技能を習得する。またその伴奏に乗せて、曲想と歌詞が表す情景や心情とのかかわりを理解して歌う。				○	○	○	
	6	西洋音楽の世界① ○レクイエム	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。				○			○
	7	批評文にチャレンジ	夏休みの課題レポートの事前学習として、資料の調べ方、批評文、解説文の書き方を知り、音楽を文章や言葉で伝える工夫をする。				○			○
	8・9	舞台音楽の世界 ○白鳥の湖 ○レ・ミゼラブル ○情景 ○夢やぶれて	オペラ、ミュージカル、バレエなどをその背景となる文化や歴史を理解して鑑賞するとともに、その中の声楽曲の歌唱を通して、舞台作品の音楽表現の特徴を理解する。				○	○	○	○
2 学 期	10	身近な音を使って曲をつくらう ○木片の音楽 ボディパーカッションの楽しみ ○ソルフェージュ ○Prelude I	簡単なリズムを組み合わせて、8小節～16小節のボディパーカッションの楽曲を創作し、発表し合う。				○	○	○	○
	11	西洋音楽の世界② ○美しき水車小屋の娘 ○交響曲第1番	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。				○			○
	12	我が国や郷土の伝統音楽	我が国や郷土の伝統音楽の特徴を理解するとともに、歌唱法や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫する。				○	○	○	○
		世界の諸民族の音楽	世界の諸民族における声や楽器による音楽や、身振りを伴う音楽の特徴を理解するとともに、表現を工夫する。				○			○
3 学 期	1	アカペラアンサンブルの楽しみ ○アンパンマンのマーチ	アカペラアンサンブルという、表現形態の学習や鑑賞を通して、各声部の役割を理解するとともに、表現や発声方法を工夫して歌う喜びを味わう。				○	○	○	○
	2	西洋音楽の世界③ ○カルミナ・プラーナ ○ラブソディー・イン・ブルー	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。				○			○
	3	モチーフを生かしてメロディをつくらう	簡単な動機を変化させたり、組み合わせを工夫したりして8小節～16小節の旋律を創作し、発表し合う。				○	○	○	○
学習のポイント		楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。 ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。 表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心がける。								